

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年10月24日

上場会社名 総合メディカルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9277 URL https://www.sogo-medical-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 修 (TEL) 092-713-7091  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	81,335	—	2,472	—	2,565	—	1,275	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,201百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.61	—
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	106,216	39,493	36.9
2019年3月期	93,560	38,669	41.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 39,144百万円 2019年3月期 38,370百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	13.75	13.75
2020年3月期	—	13.75	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.75	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,313	14.3	6,367	17.6	6,510	16.1	3,672	13.1	122.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	30,680,312株	2019年3月期	30,680,312株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	745,489株	2019年3月期	745,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	29,934,792株	2019年3月期2Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、実績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当社は、2018年10月1日に単独株式移転により総合メディカル株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、総合メディカル株式会社の2019年3月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)と比較しております。

	2019年3月期 第2四半期	利益率	2020年3月期 第2四半期	利益率	増減額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	70,101		81,335		11,233	16.0
医業支援	18,321		25,395		7,074	38.6
コンサルティング	1,223		1,149		△73	△6.0
レンタル	4,018		4,031		13	0.3
リース・割賦	4,937		7,031		2,094	42.4
院内売店	4,887		5,273		385	7.9
医療アウトソース	—		4,650		4,650	—
その他	3,255		3,258		3	0.1
薬局	51,295		55,451		4,155	8.1
その他	484		489		4	1.0
営業利益	1,983	2.8	2,472	3.0	489	24.7
医業支援	743	4.1	522	2.1	△221	△29.8
薬局	1,609	3.1	2,651	4.8	1,041	64.7
その他	△5	—	15	3.1	20	—
調整額	(364)	—	(716)	—	△351	—
経常利益	2,100	3.0	2,565	3.2	464	22.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,147	1.6	1,275	1.6	127	11.1

2020年3月期は、中期経営計画「アクション2020」の最終年度として「日本型ヘルスケアビジネスの具現化」に向け、「医療モールの開発」「病院の経営支援」「価値ある薬局の創造」と、「既存事業の機能付加・強化と医療周辺事業への事業領域拡大」に取り組み、地域ヘルスケアネットワークの基盤づくりを推進しております。

当第2四半期の経営成績は、医業支援部門においては、株式会社ルフト・メディカルケアのグループ化による売上寄与やリース・割賦事業の売上増、薬局部門においては医療モール内調剤薬局の売上増や調剤薬局の新規出店効果により、売上高は81,335百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

利益面では、薬局事業の売上増や人件費の効率化により、営業利益は2,472百万円(同24.7%増)、経常利益は2,565百万円(同22.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,275百万円(同11.1%増)となりました。

なお、2019年4月23日発表の連結業績予想(第2四半期累計)に対しては、売上高が4.1%増、利益面でも営業利益が14.1%増となるなど、予想を上回る結果となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は、以下のとおりであります。

### ① 医業支援

当第2四半期の医業支援の売上高は、株式会社ルフト・メディカルケアのグループ化による売上寄与やリース・割賦事業の売上増で25,395百万円(前年同期比38.6%増)となりました。利益面では、院内売店事業の出店コストの影響等により、営業利益は522百万円(同29.8%減)となりました。

#### ア. コンサルティング

D t o D (医業継承・医療連携・医師転職支援システム)においては、登録医師会員数が、当第2四半期末で83,156人となりました(前期末比3,369人増)。

地域の方々が住み慣れた町で、安心して暮らし続けられる医療・介護等の拠点となる医療モールの開発においては、当第2四半期末の医療モール件数は117件となりました(前期末比8件増)。あわせて案件の積み上げも進め、ターゲット案件を含め第2四半期末の案件総数は252件となりました。

売上高は、前期の大型案件の反動減で、1,149百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

#### イ. レンタル

レンタルテレビの新規設置を推進するとともに、消費税増税に伴いテレビカードの視聴時間や手数料率の見直しなどを実施し、売上高は4,031百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

#### ウ. リース・割賦

医療モール開発における医療機器の新規設置や、消費税増税前の医療機器入れ替えなどの需要増により、契約高は6,485百万円(前年同期比19.0%増)、売上高は7,031百万円(同42.4%増)となりました。

#### エ. 院内売店

当第2四半期に新規に病院内売店を8店舗、レストラン・カフェを6店舗出店した結果、当第2四半期末で、病院内売店は94店舗、レストラン・カフェは69店舗となり、売上高は5,273百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

#### オ. 医療アウトソース

2019年5月にグループ化(100%株式譲受)した株式会社ルフト・メディカルケア(人材サービス事業)の売上高は4,650百万円となりました。

同社は、医療・介護分野に専門特化したアウトソーシングのリーディングカンパニーとして、病床400床以上の大規模病院やグループ病院を中心とした全国約700の医療機関向けに、人材派遣を主軸とした人材サービス事業を展開しております。同社が提供する人材サービスにより、医師・看護師等の専門職が担う多種多様な非専門業務をタスクシフト・タスクシェアしていくことで、院内業務の効率化、医療従事者の働き方改革に大きく貢献しております。

#### カ. その他

売上高は3,258百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

### ② 薬局

「価値ある薬局の創造」をテーマに地域から選ばれる薬局「みんなの健康ステーション」を目指し、かかりつけ薬剤師・薬局をベースとした高度な薬学管理ニーズに対応するための専門薬剤師の育成や健康サポート薬局拡大に向けた取り組みを推進しております。

健康サポート薬局の取り組みでは、健康サポート薬局の認定数が、当第2四半期末で145店となりました(前期比17店増)。

調剤薬局の店舗数は、当第2四半期に18店舗(株式譲受による出店9店舗、事業譲受による出店1店舗を含む)を出店した結果、当第2四半期末で714店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期の薬局の売上高は、医療モール内調剤薬局の売上増や「みんなの健康ステーション」としての各種取り組み、M&Aを含む新規出店効果により、55,451百万円(前年同期比8.1%増)となりました。営業利益は売上増や人件費の効率化により2,651百万円(同64.7%増)となり、営業利益率も4.8%と前年同期比1.7ポイント改善しました。

### ③ その他

売上高は489百万円(前年同期比1.0%増)となり、営業利益は15百万円(前年同期5百万円の営業損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第2四半期末	増減
総資産	93,560	106,216	12,655
うち、現金及び預金	10,883	13,801	2,917
負債	54,890	66,723	11,832
うち、有利子負債 (注) 1	26,616	35,113	8,497
純資産	38,669	39,493	823
自己資本比率 (%)	41.0	36.9	△4.2
ネットD/Eレシオ (倍) (注) 2	0.41	0.54	0.13

(注) 1 有利子負債は貸借対照表に計上したリース債務、割賦未払金等を含む。

2 ネットD/Eレシオ(ネット・デット・エクイティ・レシオ)の算出方法：

(有利子負債－現金及び預金) ÷ 自己資本

当期末の総資産は、前期末比12,655百万円増加の106,216百万円となりました。流動資産は、前期末比6,546百万円増加の53,647百万円となりました。これは、現金及び預金が2,917百万円、受取手形及び売掛金が2,192百万円、たな卸資産が886百万円増加したことが主な要因であります。固定資産は、前期末比6,109百万円増加の52,569百万円となりました。これは、のれんが5,188百万円増加したことが主な要因であります。

負債は、前期末比11,832百万円増加の66,723百万円となりました。流動負債は、前期末比10,821百万円増加の43,411百万円となりました。これは、短期借入金が7,436百万円、支払手形及び買掛金が1,337百万円増加したことが主な要因であります。固定負債は、前期末比1,011百万円増加の23,311百万円となりました。これは、長期借入金が1,194百万円増加したことが主な要因であります。なお、有利子負債(リース債務、割賦未払金等を含む。)は、前期末比8,497百万円増加し35,113百万円となり、有利子負債から現金及び預金を差し引いた金額を自己資本で割ったネットD/Eレシオは、前期末比0.13ポイント増の0.54倍となりました。

純資産は、前期末比823百万円増加し39,493百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,275百万円増加し、配当金の支払いにより411百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前期末比4.2ポイント減の36.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月23日に発表した2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,883	13,801
受取手形及び売掛金	21,138	23,331
割賦債権	4,408	4,720
リース投資資産	1,448	1,789
たな卸資産	6,542	7,429
その他	2,729	2,637
貸倒引当金	△51	△62
流動資産合計	47,100	53,647
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	6,821	6,978
建物及び構築物(純額)	13,155	13,173
その他(純額)	7,248	7,765
有形固定資産合計	27,225	27,917
無形固定資産		
のれん	11,633	16,821
その他	1,241	1,262
無形固定資産合計	12,874	18,083
投資その他の資産	6,360	6,568
固定資産合計	46,460	52,569
資産合計	93,560	106,216
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,819	21,157
短期借入金	133	7,570
1年内償還予定の社債	44	195
1年内返済予定の長期借入金	5,112	5,145
リース債務	175	176
未払法人税等	1,053	1,236
その他	6,250	7,930
流動負債合計	32,589	43,411
固定負債		
社債	215	581
長期借入金	15,792	16,987
リース債務	902	814
長期割賦未払金	3,090	2,557
その他	2,299	2,371
固定負債合計	22,300	23,311
負債合計	54,890	66,723



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	38	38
利益剰余金	29,819	30,682
自己株式	△1,878	△1,878
株主資本合計	37,978	38,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	392	301
その他の包括利益累計額合計	392	301
非支配株主持分	298	348
純資産合計	38,669	39,493
負債純資産合計	93,560	106,216

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	81,335
売上原価	68,487
売上総利益	12,847
販売費及び一般管理費	10,375
営業利益	2,472
営業外収益	
受取配当金	16
受取賃貸料	9
その他	238
営業外収益合計	264
営業外費用	
支払利息	78
その他	92
営業外費用合計	170
経常利益	2,565
税金等調整前四半期純利益	2,565
法人税、住民税及び事業税	1,348
法人税等調整額	△73
法人税等合計	1,274
四半期純利益	1,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,275

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
四半期純利益	1,291
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△90
その他の包括利益合計	△90
四半期包括利益	1,201
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,185
非支配株主に係る四半期包括利益	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。